

令和4年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	第15回北陸道路舗装会議	事業経緯	継 続	実施体制	実行委員会	担当所属	技術調査室
事業名 (大項目)	調査研究及び研究助成事業	分類名 (中項目)	技術開発支援事業			事業区分	技術開発、研究開発

1. 事業目的

本事業は、積雪寒冷地である北陸地方における舗装技術の発展と意識の高揚を図り、舗装に関する諸問題に対し、産学官が連携して技術を研鑽し、国土の安全・安心に寄与することを目的とする。

2. 事業実施体制

主催：北陸道路舗装会議実行委員会

<構成10機関>

国土交通省北陸地方整備局、新潟県土木部、富山県土木部、石川県土木部、新潟市土木部、東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、(一社)北陸地域づくり協会、(一財)新潟県建設技術センター、(一社)日本道路建設業協会北陸支部

3. 事業実施概要

日時：令和4年5月31日(火)～6月1日(水)

場所：ANAクラウンプラザホテル新潟(新潟市)

プログラム：

- ・記念講演「働き方改革を成功させる意識改革と業務改革」
講師：大谷 将夫(元タカラ物流システム(株)代表取締役社長・会長)
 - ・報文発表(分科会)
4会場で、8テーマ68編の発表
 - ・ポスターセッション
13編の発表、聴講者との討議
 - ・パネルディスカッション
「持続可能な社会へ向けた舗装業界のこれから
～働き方改革、生産性向上、人材育成の現状と課題～」
コーディネーター：西澤 辰男(石川工業高等専門学校 名誉教授)
パネリスト：北陸地方整備局、ワーク・ライフバランスコンサルタント、
日本道路建設業協会、建設業者 計4名
- 参加者：のべ約800名

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

昭和54年から3年に1回開催してきており、今回で15回目となる。本来であれば2021年開催のところコロナ禍で1年延期となった。

報文発表では「舗装の長寿命化」「道路橋保全に関する舗装技術」等のテーマで課題が報告され、討議セッションでは「舗装の点検・維持修繕」「ICT舗装」という今日的な技術課題について熱心な討議がなされた。

記念講演、パネルディスカッションでは「働き方改革」「DX」「SDGs」など現在の社会情勢を踏まえた取り組みが紹介され、夢のある業界としての発展に向けた討議が展開された。

将来の担い手となる土木系高校生の参加もあり、ポスターセッションでの舗装技術に関する最新情報の提供を含め、現在並びに将来の技術者にとって大変有意義な事業となった。



記念講演



← 報文発表
↓ ポスターセッション



パネルディスカッション

